

ポスターセッションで育まれた自信と表現力

— かがしま総文 自然科学部門 ポスター (パネル) 発表 —

- ◇ 期 日 令和5年7月29日(土)～31日(月)
- ◇ 場 所 鹿児島大学 郡元キャンパス・谷山サザンホール (鹿児島市)
- ◇ 参加者 S S化学部員2名 鈴木萌奈(35H)・関口来実(36H)
- ◇ 指導者 S S化学部顧問 浮田直美先生

私たちは、「媒晶剤のカルボキシラートイオンの変化でコントロールするNaCl型結晶の形」という研究テーマでポスター発表を行いました。内容としては、本来は直方体結晶であるNaCl型結晶を、媒晶剤によって正八面体結晶に変化させた過去の研究をもとに、今回は、正八面体結晶から再び直方体結晶へ戻す研究でした。

2日間7時間にも及ぶ大会のセッションは、貴重な生徒交流の場となりました。観覧者の方々には、ポスターだけでなく、実際に取り出した結晶も見てもらいながら、わかりやすい説明を心がけました。多くの人に私たちの研究に対して興味をもってもらうことができ、充実した時間となりました。生徒交流の中で発表経験を積むことによって、審査の時も自信をもって発表することができました。全国のレベルの高い研究や、鹿児島の雄大な自然に触れることができ、忘れられない貴重な経験となりました。コロナ禍によるオンラインでの大会が多かった中、現地での大会に参加できたことに感謝いたします。

